

委員会からの検討指示事項に対する作業班検討結果のまとめ

課題 2. (国際的なハーモナイゼーションに対するベンダーの考え方)

新しい周波数帯（700MHz 帯）に対応したシステムを導入するためにはある程度の開発費が必要であり、それを回収するためにはスケールメリットを大きくすることが重要である。

ハーモナイゼーションを考慮しない場合に、ものづくりや端末価格がどうなるかということ、現時点で一概に言うことは難しい。今後、その他の条件を含めて検討していく問題である。

課題 3. (他国との干渉問題の可能性及びその対策)

他国とどのような干渉又は被干渉の可能性があるかという事実関係を整理した。今後も AWF 等の動向や韓国の割当てがどうなるかといった関連の動きを注視していく必要がある。

課題 4. (近い将来の定量的なトラヒックの予測)

各事業者とも今後のデータトラヒックの大きな伸びを予測していることから、2012 年 7 月以降早急に 700/900MHz 帯が利用できるよう周波数を割り当てる必要がある。